

家畜の所有者の連絡先	電子メール	abcdef@ghi.jkl											
	電子メール ※訂正欄												
	携帯電話番号	0	9	0	1	2	3	4	0	0	0	0	※ハイフンなし左詰めで記入
	携帯電話番号 ※訂正欄												※ハイフンなし左詰めで記入
	(電話番号)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	※ハイフンなし左詰めで記入	
	(電話番号) ※訂正欄											※ハイフンなし左詰めで記入	
	(FAX)	1	2	3	4	5	6	9	8	7	0	※ハイフンなし左詰めで記入	
(FAX) ※訂正欄											※ハイフンなし左詰めで記入		
飼養衛生管理者	家畜の所有者が自ら飼養衛生管理者の場合、チェックを付け飼養衛生管理者の情報記入は不要												
飼養衛生管理者の氏名	浦和 花子												
飼養衛生管理者の氏名 ※訂正欄													
飼養衛生管理者の住所	郵便番号	4	5	6	-	9	8	7	0				
	都道府県	埼玉県			市区町村	さいたま市			市区町村以降	# #区▼▼町1-2			
	都道府県	埼玉県			市区町村	さいたま市			市区町村以降	# #区▼▼町1-2			
飼養衛生管理者の住所 ※訂正欄	郵便番号				-								
	都道府県				市区町村				市区町村以降				
	都道府県				市区町村				市区町村以降				
飼養衛生管理者の連絡先	電子メール	OΔ@abc.def											
	電子メール ※訂正欄												
	携帯電話番号	0	9	0	4	3	2	1	0	0	0	0	※ハイフンなし左詰めで記入
	携帯電話番号 ※訂正欄												※ハイフンなし左詰めで記入
	(電話番号)	4	4	4	5	5	5	5	6	6	6	※ハイフンなし左詰めで記入	
	(電話番号) ※訂正欄											※ハイフンなし左詰めで記入	
	(FAX)	1	1	1	2	2	2	3	3	3	3	※ハイフンなし左詰めで記入	
(FAX) ※訂正欄											※ハイフンなし左詰めで記入		
飼養衛生管理者が管理する衛生管理区域の住所	郵便番号	1	2	3	-	7	8	9	0				
	都道府県	埼玉県			市区町村	さいたま市			市区町村以降	☆☆区□□3-4			
	都道府県	埼玉県			市区町村	さいたま市			市区町村以降	☆☆区□□3-4			
飼養衛生管理者が管理する衛生管理区域の住所 ※訂正欄	郵便番号				-								
	都道府県				市区町村				市区町村以降				
	都道府県				市区町村				市区町村以降				

⑤所有者と飼養衛生管理者が異なる場合は、その氏名、住所、連絡先(携帯電話番号、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス)を記入

(法人や教育機関等で飼養している場合で、従業員や職員の方が管理者となる場合、住所・連絡先は所有者住所・連絡先と同じで構いません。)

※飼養衛生管理者とは

家畜を飼養し、衛生管理する必要がある区域に対し、責任者として1人を選任してください。所有者自らが管理者となることも可能です。

家畜の種類 及び頭羽数	乳用雌牛	成牛	育成牛	子牛			
		1 頭	1 頭	頭			
	肥育牛 (乳用種の雄牛 及び交雑種の牛 を除く。)	成牛 (肥育後期の牛)	肥育前期の牛	育成牛	子牛		
		頭	頭	頭	頭		
	肥育牛 (乳用種の雄牛 及び交雑種の牛 に限る。)	成牛 (肥育後期の牛)	肥育前期の牛	育成牛	子牛		
		頭	頭	頭	頭		
	肉用繁殖牛	成牛(雄)	成牛(雌)	育成牛	子牛		
		頭	頭	頭	頭		
	豚	繁殖豚			肥育豚 (子豚を除く。)	子豚	
		雄豚	母豚	育成豚			
		頭	頭	頭	頭	頭	
	鶏	採卵鶏		肉用鶏			
		成鶏	育成鶏				
		5 羽	羽	羽			
	馬その他	馬	水牛	鹿	めん羊	山羊	
頭		頭	頭	頭	頭		
いのしし		うずら	あひる	きじ	だちょう		
頭		羽	羽	羽	羽		
ほろほろ鳥		七面鳥					
羽		羽					
畜舎等の数	畜舎	ふ卵舎					
	3 (牛舎2、 鶏舎1) 舎	舎					

⑥所有する家畜の種類及び月齢に応じて該当する欄に飼養頭羽数を記入(各項目の詳細については、下記「注意事項」の7を参照ください。)

⑦農場に所在する畜舎の数を記入(なお、家畜の種類ごとに別の農場の場合は、別々の定期報告書の提出が必要)

- 注意 1 本報告書は、農場ごとに、家畜の所有者(当該所有者以外に家畜伝染病予防法第3条の管理者がある場合にあつては、当該管理者。以下この1において同じ。)が作成し、提出すること。なお、作成に当たって、所有者以外の者が家畜伝染病予防法第12条の3の2の飼養衛生管理者である場合にあつては、当該飼養衛生管理者に作成させることができる。
- 2 家畜の所有者は、「家畜の所有者の氏名」欄、「家畜の所有者の住所」欄及び「家畜の所有者の連絡先」欄に記載すること。ただし、家畜の所有者以外に家畜伝染病予防法第3条の管理者がある場合、もしくは法人の場合にあつては、家畜の所有者に代わり管理者もしくは法人の情報を記載すること。

3 家畜の所有者が自ら飼養衛生管理者となる場合については、「飼養衛生管理者の氏名」欄に「同上」と記載すること。この場合、「飼養衛生管理者の住所」欄、「飼養衛生管理者の連絡先」欄、「飼養衛生管理者が管理する衛生管理区域の住所」欄の記載は要さない。

4 衛生管理区域ごとに「飼養衛生管理者の氏名」欄、「飼養衛生管理者の住所」欄、「飼養衛生管理者の連絡先」欄、「飼養衛生管理者が管理する衛生管理区域の住所」欄をそれぞれ記載すること。

その際、飼養衛生管理者が複数の場合は、本様式の1. 基本情報の該当欄に飼養衛生管理者を代表する者の情報を記載し、その他の飼養衛生管理者の情報については、別紙の1-2. その他の飼養衛生管理者の欄に記載すること。なお、飼養衛生管理者が1人の場合は別紙の提出は必要ない。

5 報告の期日等について

(1) 報告事項は、その年の2月1日時点のものとすること。

(2) 報告書の提出期限は、

イ 牛・水牛・鹿・めん羊・山羊・豚・いのしし・馬の場合は、毎年4月15日

ロ 鶏・あひる・うずら・きじ・ほろほろ鳥・七面鳥の場合は、毎年6月15日

6 家畜の飼養頭羽数については、その年の2月1日時点において、同日前に家畜の出荷又は移動を行ったことにより、当該家畜の飼養頭羽数が通常よりも相当程度少ない場合にあつては、当該出荷又は移動を行った日の前日時点のものとすること。

7 「家畜の種類及び頭羽数」の欄における用語の意義は、次のとおりとする。

(1) 「乳用雌牛」において、「成牛」とは月齢が満24月以上のものをいい、「育成牛」とは月齢が満4月上満24月未満のものをいい、「子牛」とは日齢が満10日以上で月齢が満4月未満のものをいう。

(2) 「肥育牛(乳用種の雄牛及び交雑種の牛を除く。)」において、「成牛(肥育後期の牛)」とは月齢が満24月以上のものをいい、「肥育前期の牛」とは月齢が満9月上満24月未満のものをいい、「育成牛」とは月齢が満4月上満9月未満のものをいい、「子牛」とは月齢が満4月未満のものをいう。

(3) 「肥育牛(乳用種の雄牛及び交雑種の牛に限る。)」において、「成牛(肥育後期の牛)」とは月齢が満17月以上のものをいい、「肥育前期の牛」とは月齢が満7月上満17月未満のものをいい、「育成牛」とは月齢が満4月上満7月未満のものをいい、「子牛」とは月齢が満4月未満のものをいう。

(4) 「肉用繁殖牛」において、「成牛」とは月齢が満24月以上のものをいい、「育成牛」とは月齢が満4月上満24月未満のものをいい、「子牛」とは月齢が満4月未満のものをいう。

(5) 「子豚」とは、離乳した豚であつて月齢が満3月未満のものをいう。

(6) 「繁殖豚」において、「雄豚」及び「雌豚」とは月齢が満12月以上のものをいい、「育成豚」とは月齢が満3月上満12月未満のものをいう。

(7) 「採卵鶏」において、「成鶏」とは日齢が満150日以上ものをいい、「育成鶏」とは日齢が満150日未満のものをいう。

8 「2. 飼養衛生管理基準の遵守状況及び遵守するための措置の実施状況」については、飼養する家畜の種類に対応する様式(1)から(4)までの間から選択し、記載すること。また、「飼養衛生管理基準遵守状況の添付資料一覧」に掲げた資料を添付すること。ただし、家畜伝染病予防法施行規則第21条の6において、報告事項が同条第1号、第2号及び第5号に掲げる事項に限定されている者(※)は、「1. 基本情報のうち、畜舎等の数」及び「2. 飼養衛生管理基準の遵守状況及び遵守するための措置の実施状況」の報告並びに「添付書類」の提出は不要である。

9 報告いただいた家畜の所有者の氏名又は名称及び連絡先並びに飼養衛生管理者の氏名及び連絡先については、家畜衛生に関する情報の迅速な共有等を目的として、農林水産省に共有します。また、法令に基づき農林水産省から家畜の所有者に関する情報についての報告を求められた場合には、報告いただいた内容の全部又は一部を同省に提供することがあります。

10 報告いただいた内容のうち、家畜伝染病予防法施行規則第21の6で定める事項については、家畜伝染病予防法第12条の4の2の規定に基づき、都道府県から当該家畜の所在地を管轄する市町村へ通知いたします。

※ 家畜伝染病予防法施行規則第21条の6において、報告事項が同条第1号、第2号及び第5号に掲げる事項に限定されている者とは、次の各号に掲げる家畜の所有者について、それぞれ当該各号に定める頭羽数の家畜の所有者をいう。

(1) 牛・水牛・馬の場合 1頭

(2) 鹿・めん羊・山羊・豚・いのししの場合 6頭未満

(3) 鶏・あひる・うずら・きじ・ほろほろ鳥・七面鳥の場合 100羽未満

(4) だちょうの場合 10羽未満

提出は、家畜を飼養している場所(市町村)を管轄する埼玉県の各家畜保健衛生所に農林水産省共通申請サービス、郵送、FAX、E-mailでお願いします。また、お問い合わせは、各家畜保健衛生所へお願いします。

(1) 埼玉県中央家畜保健衛生所(〒331-0821 さいたま市北区别所町107-1)

電話 048-663-3071 FAX 048-666-8731

E-mail: m6330714@pref.saitama.lg.jp

【管轄】さいたま市、川口市、鴻巣市、上尾市、草加市、蕨市、戸田市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、北本市、伊奈町、春日部市、越谷市、久喜市、八潮市、蓮田市、宮代町、白岡市、三郷市、幸手市、吉川市、杉戸町、松伏町

(2) 埼玉県川越家畜保健衛生所(〒350-0837 川越市石田152)

電話 049-225-4141 FAX 049-226-9653

E-mail: r2541411@pref.saitama.lg.jp

【管轄】川越市、所沢市、飯能市、狭山市、入間市、富士見市、ふじみ野市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、三芳町、毛呂山町、越生町、東松山市、滑川町、嵐山町、小川町、ときがわ町、川島町、吉見町、鳩山町

(3) 埼玉県熊谷家畜保健衛生所(〒360-0813 熊谷市円光1-8-30)

電話 048-521-1274 FAX 048-526-1063

E-mail: k2112741@pref.saitama.lg.jp

【管轄】秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町、東秩父村、本庄市、美里町、神川町、上里町、熊谷市、深谷市、寄居町、行田市、加須市、羽生市

※⑥(所有する家畜の種類及び飼養頭羽数)の記入の際の参考としてください。

1-2. その他の飼養衛生管理者

⑧農場に飼養衛生管理区域や飼養衛生管理者が複数存在する場合はその情報を記入

飼養衛生管理者の氏名			
飼養衛生管理者の氏名 ※訂正欄			
飼養衛生管理者の住所	郵便番号		
	都道府県	市区町村郡	市区町村郡以降
飼養衛生管理者の住所 ※訂正欄	郵便番号		
	都道府県	市区町村郡	市区町村郡以降
飼養衛生管理者の連絡先	電子メール		
	電子メール ※訂正欄		
	携帯電話番号		※ハイフンなし左詰めで記入
	携帯電話番号 ※訂正欄		※ハイフンなし左詰めで記入
	(電話番号)		※ハイフンなし左詰めで記入
	(電話番号) ※訂正欄		※ハイフンなし左詰めで記入
	(FAX)		※ハイフンなし左詰めで記入
(FAX) ※訂正欄		※ハイフンなし左詰めで記入	
飼養衛生管理者が管理する衛生管理区域の住所	郵便番号		
	都道府県	市区町村郡	市区町村郡以降
飼養衛生管理者が管理する衛生管理区域の住所 ※訂正欄	郵便番号		
	都道府県	市区町村郡	市区町村郡以降
飼養衛生管理者の氏名			
飼養衛生管理者の氏名 ※訂正欄			
飼養衛生管理者の住所	郵便番号		
	都道府県	市区町村郡	市区町村郡以降
飼養衛生管理者の住所 ※訂正欄	郵便番号		
	都道府県	市区町村郡	市区町村郡以降
飼養衛生管理者の連絡先	電子メール		
	電子メール ※訂正欄		
	携帯電話番号		※ハイフンなし左詰めで記入
	携帯電話番号 ※訂正欄		※ハイフンなし左詰めで記入
	(電話番号)		※ハイフンなし左詰めで記入
	(電話番号) ※訂正欄		※ハイフンなし左詰めで記入
	(FAX)		※ハイフンなし左詰めで記入
(FAX) ※訂正欄		※ハイフンなし左詰めで記入	
飼養衛生管理者が管理する衛生管理区域の住所	郵便番号		
	都道府県	市区町村郡	市区町村郡以降
飼養衛生管理者が管理する衛生管理区域の住所 ※訂正欄	郵便番号		
	都道府県	市区町村郡	市区町村郡以降